

2006年(平成18年)2月12日(日曜日)

# 百済駅周辺住民が集会

JR貨物駅  
移転問題

「説明会を」「計画白紙に」と反発

JR大阪駅北側の梅田北ヤード再開発で、梅田貨物駅の移転先の一つとして計画されているJR百済貨物駅(東住吉、平野区)の周辺住民でつくる「百済貨物駅問題対策委員会」(藤原正信委員長)は11日、東住吉区の市立育和小で住民集会を開いた。約200人が参加し、環境悪化を心配する声や、計画の中止を求める反対意見が相次いだ。

JR大阪駅北側の梅田北ヤード再開発で、梅田貨物駅に移すことも申し合わされた。

この日は、藤原委員長が「住民の合意なしに工事を進めることは許されない。環境悪化から子どもを守る

ためにも声を上げていきましよう」などとあいさつ。

同委員会が移転計画の経過を説明、参加者から「吹田で行われているような環境対策は百済では行われないのか」「住民説明会を開くべき」「計画は白紙に」などの意見が噴出した。最後に、「JR機構、大阪市は地元大多数の意見を尊重せよ」との決議文を採択した。

梅田貨物駅の移転については、10日、機能の半分を旧国鉄吹田操車場跡地(吹田、摂津両市)に移転する協定が関係者間で締結さ